

水環境保全への取組

水質浄化に取り組む現場を訪問



身近な環境への関心からスタートし積極的に環境保全に取り組む「NPO団体」

東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム

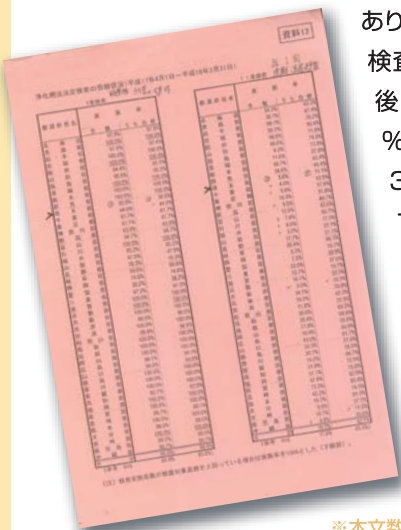
埼玉県(戸田市) 代表 大石 昌男さん

東京湾と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラムは、今年で設立5年目になります。このフォーラムは2003年に京都で開かれた「第三回世界水フォーラム」のようなものを誰でも参加できるような形で行おうという趣旨のもと始まりました。ゴミ拾いや水質調査、水フォーラムの開催などを中心に活動を行っています。今年の水フォーラムでは3つのテーマのうち1つを「浄化槽と川の水質改善」とするなど、浄化槽への活動に力を入れています。

東京都と荒川・利根川・多摩川を結ぶ水フォーラム <http://www.water-forum.net/>

浄化槽への取組を積極的に行うようになった経緯

県とともに「綾瀬川ワースト1」とことん脱却大作戦に取り組んでいると、綾瀬川の汚濁の原因をよく聞かれるようになりました。調査を行った結果、単独処理浄化槽が汚濁の大きな原因であるということがわかってきました。全国に単独処理浄化槽は630万基あり、埼玉県だけでも51万基もあります。また、埼玉県内で浄化槽の法定検査を受けている世帯は7条検査(設置後3~8ヵ月に行う水質検査)が30.9%、11条検査(年1回行う水質検査)が3.6%と非常に少なく、点検・清掃がきちんと行われていないことも水質汚濁の原因になっています。このようなことから水質汚濁を改善するカギとして浄化槽に注目しています。



※本文数値参考資料



現場取材&インタビュー

浄化槽普及のためにこんな活動を行っています!

① ポスターを作っています

浄化槽をPRするポスターを5,000部作成し、市役所、町・村役場や町会などに貼ってもらい、浄化槽に対する意識の向上を目指しています。

② 各市へ浄化槽講習会を開くよう呼びかけを行っています

埼玉県内の74市町村に対して、年に2回浄化槽講習会を開くよう呼びかけを行っています。市町村が講習会を行えば、会場費も市町村の会議室などを利用できるため無料です。また、宣伝も広報誌で行えば良く、講師・資料代2~3万円くらいで講習会を開くことができます。この活動は埼玉県から認定を受けました。

③ 浄化槽に関するチラシを作り配布しています!

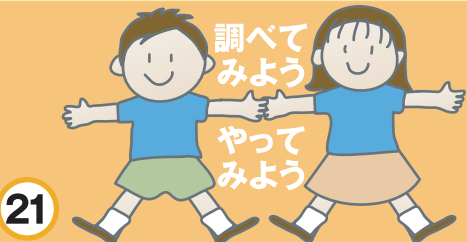
私たちの「川を汚さないために」という水環境保全への意識がどれくらいあるかをチェックするシートを作成し、町会を通じて配布したり、小学校の総合学習で配布したりしました。川口市で10%、さいたま市岩槻区で100%、越谷市で10町会、八潮市で全校生徒に配るなど、今までに13万枚ほどを配っています。4年ほど配布していますが、チェックシートへのコメントも具体的に書かれてくるようになるなど、反応のレベルが変わってきており、浄化槽への意識が徐々に高まっているのを感じています。

平成17年にワースト1となった大和川がワースト1から脱却した理由を検証してみたところ、市が市民に対して三角コーナー7日分を配るなど、チェックシートの1~3の項目を実践していたことがわかりました。チェックシートの項目を実践することが水質保全につながるということがわかってきたので、ぜひみなさんにこのチェックシートをご活用いただきたいと思います。



その他こんなアイデアもあります!

その他実施してみたいこととして、浄化槽の家庭訪問を行ってみたいと思っています。埼玉県が行っている「綾瀬川ワースト1」とことん脱却大作戦の1つの取組として県の職員が80軒に対して訪問調査を行ったというのがヒントとなりました。



自分の住んでる街(都道府県)の汚水処理人口普及率を調べてみよう!

浄化槽などの汚水処理施設が全国でどれくらい普及しているのかを巻末の資料をもとに調べてみましょう。

巻末にある「汚水処理人口普及状況」表で調べてみよう

自分が住んでるところ

都道府県	A総人口	B汚水処理人口	汚水処理人口普及率 = $\frac{B}{A} \times 100$	全国で何位
	000人	000人	%	位

水環境保全への取組

水質浄化に取り組む現場を訪問

みんなが安心して利用できる川になるといいね!

現場取材&インタビュー



身近な環境への関心からスタートし積極的に環境保全に取り組む「NPO団体」

「よみがえれ元荒川の会」

埼玉県(蓮田市)
代表 津浦悦男さん



活動内容

平成10年2月に元荒川を昔のように親しんで、遊べる川にすることを目的に設立しました。元荒川の調査とエコ排水(環境にやさしい排水)のチラシの作成からはじめて、ゴミ拾いはもちろん、メダカを田んぼに放流し自然環境を調査したりしました。最近では、水質も改善されてきていることもあり、川に親しんでもらう活動に力を入れていて、川原で凧揚げや釣りなどが楽しめる「わくわくランド」を整備し、一年を通じて、活動を行っています。

水質保全に関する取組

先ほどのエコ排水を呼びかけるチラシのほか、チェックシートを体験学習などのときに配布・回収し住民の意識の調査をしています。また毎年5月に蓮田環境問題連絡会のメンバーとして「環境フェア」を実施しています。このイベントでは環境クイズラリーや自然体験学習など身近に環境問題を考える催しが開かれており、その中で、浄化槽のカットモデルを展示し、浄化槽の中にある微生物の動きを目で見ることができるコーナーを設置しています。浄化槽の普及に関して、市民団体としてはPRしかできないので、これからも継続して行っていきしかたないですね。



浄化槽から微生物をスポイトで取り出し、顕微鏡で微生物の動きをみることができるコーナーがあります。

菜つみウォーク



元荒川クリーン作戦



「綾瀬川を愛する会」

埼玉県(川口市)
幾島淑美さん

総合学習で水質保全や生活排水について教える

綾瀬川の環境保全の活動として、定例のゴミ拾いや水質調査を行っています。また最近では小学校の総合学習で環境教育を行っています。昨年は16校に訪問しました。授業の内容は、子供たちにお茶碗をアクリルたわしで洗ってもらいます。マヨネーズやケチャップがついたお茶碗を、ふき取ってから洗ったものと、そのまま洗剤をつけて洗ったものとの水の汚れ方を比べたりして、生活排水を見直すことを呼びかけています。またその授業では、川を汚さないためのチェックシートという、家庭で親御さんと一緒に自分の家の生活排水を考え、改善を呼びかけるチラシを配っています。

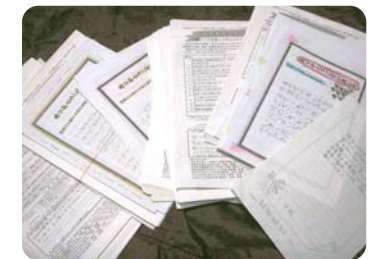


このチェックシートは以前から作っていたんですが、平成18年度の「綾瀬川ワースト1とことん脱却大作戦」の際に改めて作り直したもので、以来、配布数、回収数も増えていき、アンケートの結果からも住民の方の意識が変わってきているのが目に見えます。このアンケートは集計して会報に載せています。

また綾瀬川での活動を通して、川の汚れる原因の1つに埼玉県の浄化槽の法定検査の検査率が3~4%と低いことがわかりました。これを受けて今年「川を愛する浄化槽フォーラム埼玉」を設立しました。まだ出来たばかりなのですが、勉強会などを通して、市民の側から川をきれいにするためのフォーラムとして機能すればいいなと思っています。

「川を愛する浄化槽フォーラム埼玉」

環境保全効果を身近に体験できる浄化槽を通じて、水に関する環境保全活動をより活性化させるとともに、NPO等関係者の全国的な情報交換のネットワークとなる「浄化槽フォーラム」が今年6月に設立されました。これを受けて埼玉県の拠点となる「市民の側から川をきれいにするためのフォーラム」として設立されました。



家族みんなで、NPOの人たちが作った水を汚さないチェックシートをやってみよう
浄化槽をはじめとして、水を汚さないための取組みがわかったところで、チェックシートに挑戦してください。みんなはどれくらいできるかな?

巻末にある「水を汚さないチェックシート」をやってみよう



水を汚さないチェックシートの使い方
1)項目をよく読んで、チェックしてください
2)チェックし終わったら、点数を合計します
3)点数が出たら、自分がどれくらい「川を汚さない」ようにしているかがわかります

あなたの点数は?

点